

図1-2 調査位置平面図

S=1/1,000

ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No. 4		調査位置		京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内		北緯	34° 58' 51.0"
発注機関	京都大学		施設部		建築課		東経	135° 40' 49.0"
調査業者名	株式会社キョウギ		地質センター		主任技師		ボーリング責任者	
株式会社	電話(075-611-5281)		H=		増谷一		甲斐宏司	
孔口標高	148.91m		角		北0°		コ	
総掘進長	27.10m		180°		西90°		鑑定者	
			上90°		東		ハンマー	
			下0°		南		落下用具	
							ポンプ	
							カノホーリンク製 V5-P型	

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	相対稠度	相対密度	記	標準貫入試験		原位置試験		室内試験	掘進月日
								10cmごとの 深 度 (m)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果		
1	1.90	144.51	砂礫	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 含水少ない。 上部草根混入。	1.15	17	1.45	1	1	1	8/5
2	2.50	146.41	礫混り粘土質砂	非常に緩い	緩い	中細砂主体。 全体に粘土多く含む。 φ5~10mmの礫混入。 下部になるにつれ粘土多くなる。	1.45	30	2.15	2	2	2	8/5
3	1.90	144.51	礫混り粘土質砂	非常に緩い	緩い	中細砂主体。 全体に粘土多く含む。 φ5~10mmの礫混入。 下部になるにつれ粘土多くなる。	2.48	5	3.15	1	3	3	8/5
4	4.40	144.51	礫混り粘土質砂	非常に緩い	緩い	中細砂主体。 全体に粘土多く含む。 φ5~10mmの礫混入。 下部になるにつれ粘土多くなる。	4.15	33	3.50	2	4	4	8/5
5	4.70	144.21	礫混り粘土質砂	非常に緩い	緩い	中細砂主体。 全体に粘土多く含む。 φ5~10mmの礫混入。 下部になるにつれ粘土多くなる。	4.46	10	4.46	3	5	5	8/5
6	5.20	142.71	粘土質砂礫	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 全体に粘土帯びる。風化礫混入。 LL-6.04mm含水確認。	5.15	13	5.45	4	6	6	8/5
7	7.90	141.01	粘土質砂礫	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 全体に粘土帯びる。風化礫混入。 LL-6.04mm含水確認。	6.45	5	6.45	2	7	7	8/5
8	8.90	140.01	礫混り砂	中くらい	緩い	φ5~20mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂・粘土で充填。 部分的に粘土卓越する。 風化礫混入。	7.15	15	7.45	3	8	8	8/5
9	9.80	139.11	粘土混り砂礫	緩い	緩い	中細砂主体。均質な砂。 φ5mm程度の礫混入。 含水少ない。	8.45	8	8.45	4	9	9	8/5
10	11.50	137.41	礫混り砂	中くらい	緩い	φ5~20mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 若干含水多い。	9.15	16	9.45	5	10	10	8/5
11	13.70	135.21	砂礫	中くらい	緩い	中細砂主体。 φ5~10mmの礫混入。 風化礫混入。 部分的にφ50~100mmの玉石点在。 含水少ない。	10.15	30	10.45	6	11	11	8/5
12	16.90	132.01	礫混り砂	中くらい	緩い	中細砂主体。 φ5~10mmの礫混入。 風化礫混入。 部分的にφ50~100mmの玉石点在。 含水少ない。	11.15	22	11.45	7	12	12	8/5
13	22.80	128.91	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	12.15	31	12.45	8	13	13	8/5
14	18.40	130.51	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	13.15	17	13.45	9	14	14	8/5
15	20.00	127.11	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	14.15	31	14.45	6	15	15	8/5
16	21.80	126.11	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	15.15	31	15.45	7	16	16	8/5
17	18.40	128.91	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	16.15	21	16.45	8	17	17	8/5
18	20.00	127.11	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	17.15	30	17.45	6	18	18	8/5
19	21.80	126.11	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	18.15	30	18.45	7	19	19	8/5
20	22.80	124.21	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	19.15	30	19.45	8	20	20	8/5
21	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	20.15	30	20.45	10	21	21	8/5
22	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	21.15	30	21.45	12	22	22	8/5
23	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	22.15	30	22.45	10	23	23	8/5
24	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	23.15	30	23.45	12	24	24	8/5
25	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	24.15	30	24.45	10	25	25	8/5
26	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	25.15	30	25.45	12	26	26	8/5
27	27.10	121.81	砂	中くらい	緩い	φ5~30mmの亜角礫主体。 礫間には中細砂で充填。 風化礫混入。 含水少ない。	26.15	30	26.45	10	27	27	8/5

ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 5		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内		北緯	34° 58' 53.0"
発注機関	京都大学		施設部	建築課		東経	135° 40' 49.0"
調査業者名	株式会社 キンキ地質センター		主任技師	甲斐 宏司		ボーリング責任者	齊藤 清
株式会社	電話(075-611-5281)		方角	北0° 270° 西 180° 南		現場代理人	増谷 一
孔口標高	152.52m	180° 上 90° 下 0°	地盤勾配	鉛直 90°		コ定者	ア斐 宏司
総掘進長	22.00m		使用機種	エンジン ヤンマー製 NFAD-7型		ハンマー	落下用具
				試験錐機 カノホーリック製 KR-50型		ポンプ	半自動落下装置
				エンジン ヤンマー製 NFAD-7型			

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験		室内試験 ()	掘進月日
									10cmごとの打撃回数	深度 (m)	深度 (m)	試験名および結果		
1			礫混り砂	淡黄褐色	緩い			中〜細砂主体。含水少ない。φ5〜20mmの礫混る。局部的にφ100〜150mmの玉石点在。全体に粘土帯びる。上部草根混入。	0.45	0.10			1	8/6
2	2.00	150.52							1.15	0.06			2	8/6
3									1.45	0.17			3	8/6
4									2.15	0.15			4	8/6
5									2.45	0.15			5	8/6
6									3.15	0.15			6	8/6
7									3.45	0.15			7	8/6
8									4.15	0.15			8	8/6
9									4.45	0.15			9	8/6
10									5.15	0.15			10	8/6
11		141.72							5.45	0.15			11	8/6
12									6.15	0.15			12	8/6
13		139.72							6.45	0.15			13	8/6
14									7.15	0.15			14	8/6
15									7.45	0.15			15	8/6
16		136.52							8.15	0.15			16	8/6
17									8.45	0.15			17	8/6
18									9.15	0.15			18	8/6
19									9.45	0.15			19	8/6
20									10.15	0.15			20	8/6
21									10.45	0.15			21	8/6
22		130.52							11.15	0.15			22	8/6
23									11.45	0.15			23	8/6
24									12.15	0.15			24	8/6

ボーリング柱状図

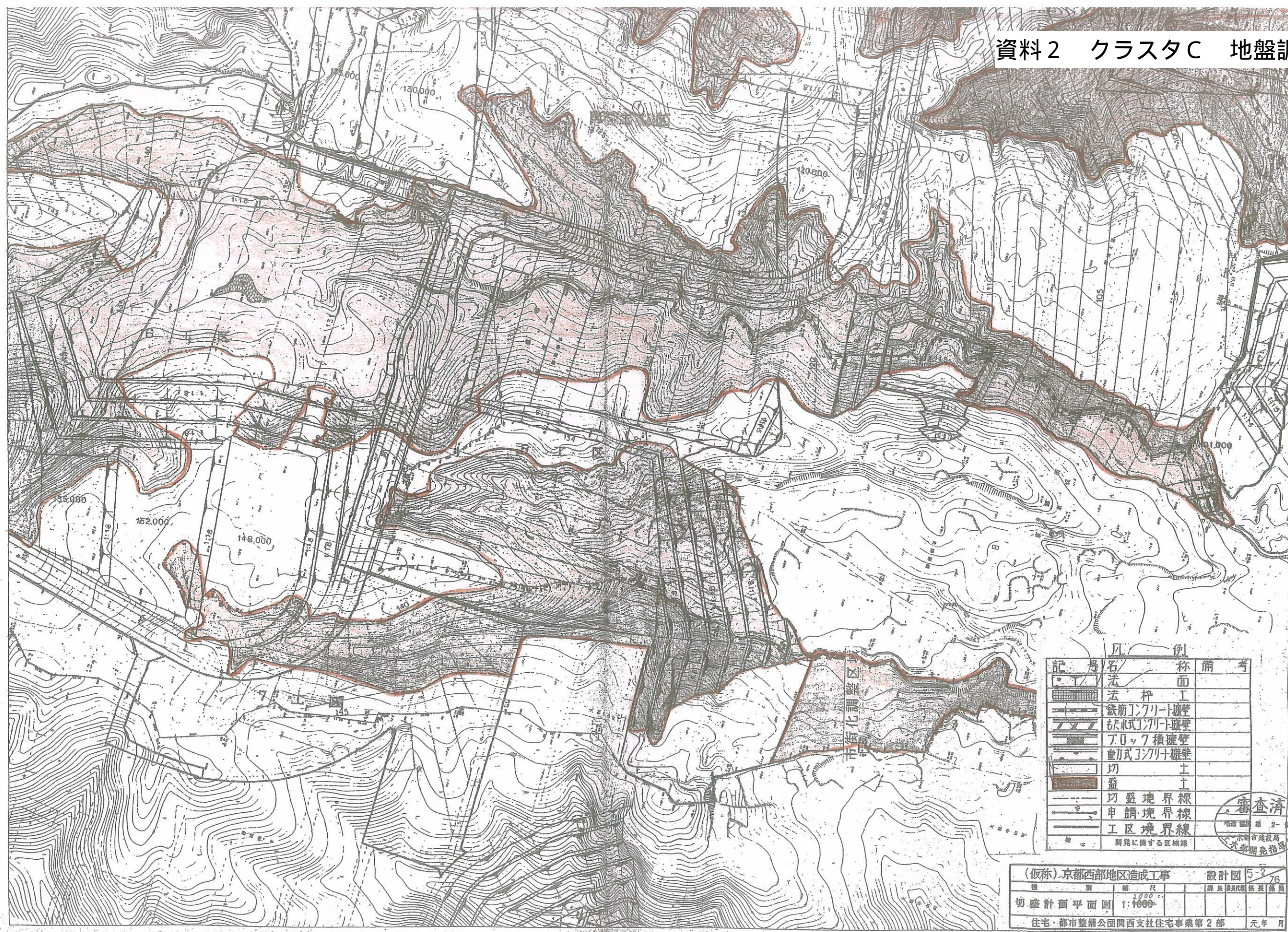
調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 7		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内		北緯	34° 58' 50.0"
発注機関	京都大学施設部建築課		調査期間	平成14年8月6日～14年8月9日		東経	135° 40' 47.0"
調査業者名	株式会社キンキ地質センター 電話(075-611-5281)		現場代理人	増谷 一		ボーリング責任者	牛島 信久
孔口標高	H=151.97m	方角	北10° 270° 西	地盤勾配	水平0°	試験機	カノホ、-リンク、製 ハンマニ 落下用具
総掘進長	22.00m	角	180° 上 下	主任技師	甲斐 宏司	エンジン	ヤンマー製 NFAD-8型 ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	標準貫入試験		原位置試験		試験採取		掘進月日
									10cmごとの 打撃回数	深度 (m)	深度 (m)	試験名	試験番号	採取方法	
1				粘土混り砂礫	黄褐色	緩い		φ5~20mmの垂角礫主体。礫間の中~細砂で充填。草根混じる。全体に風化礫混入。含水少ない。部分的に粘土うすく挟む。	0.45	10	1.00	1	採取	○	8/6
2									1.15	5	2.00	2		○	
3	149.07	2.90							2.70	5	3.00	3		○	
4									3.15	14	4.00	4		○	
5									3.45	35	5.20	5		○	
6									4.15	47	6.00	6		○	
7									5.45	30	7.00	7		○	
8									6.15	23	8.00	8		○	
9									6.38	64	9.00	9		○	
10									7.15	25	10.00	10		○	
11									7.45	38	11.00	11		○	
12									8.15	31	12.00	12		○	
13									8.45	0	13.00	13			
14									9.15	0	14.00	14			
15									9.45	0	15.00	15			
16									10.00	0	16.00	16			
17									11.15	0	17.00	17			
18									11.45	0	18.00	18			
19									12.00	0	19.00	19			
20									13.00	0	20.00	20			
21									13.00	0	21.00	21			
22									24 36 8	0	22.00	22			

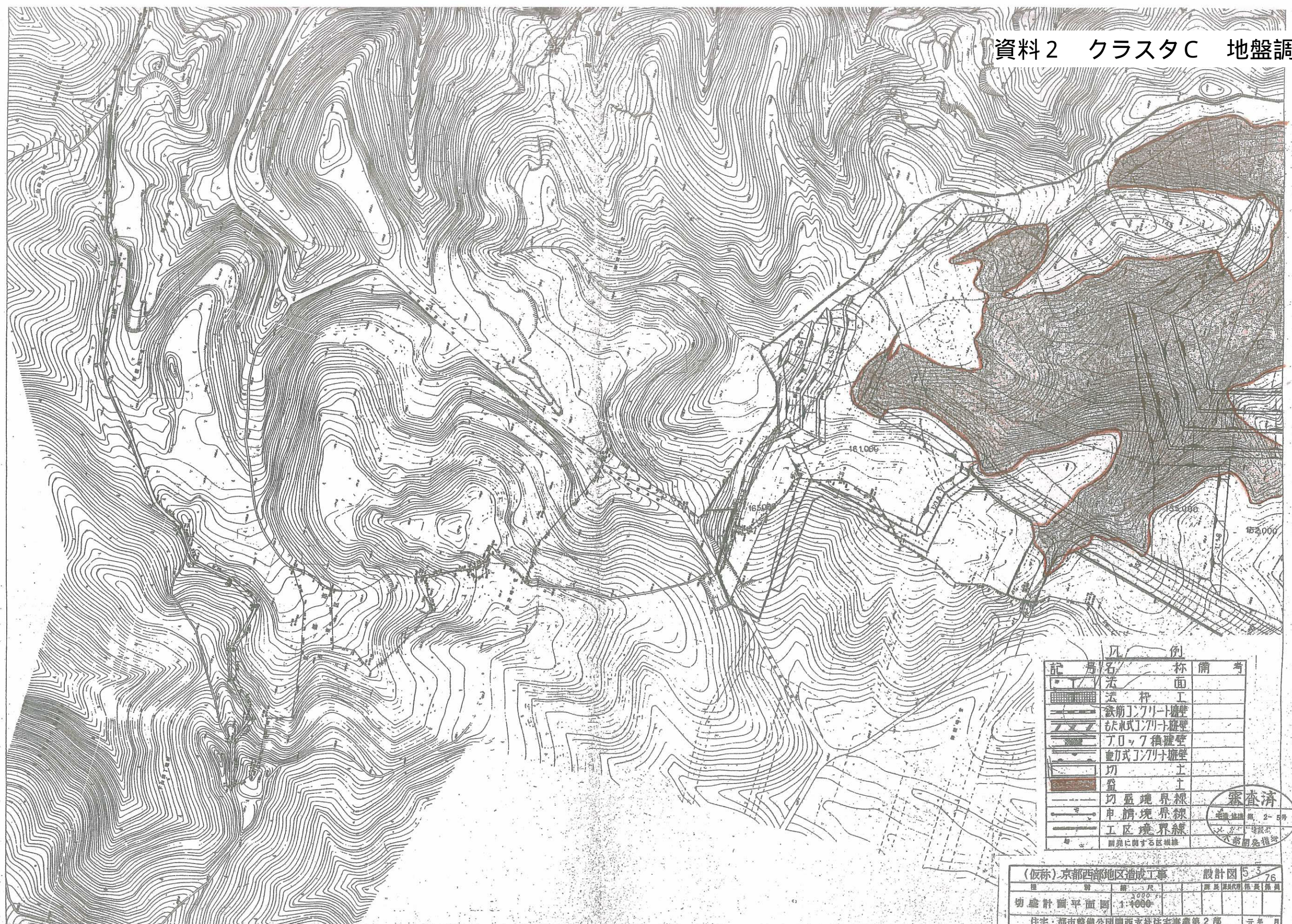


記号	名称	備考
[Symbol]	法 柵 面	
[Symbol]	法 柵 工	
[Symbol]	鉄筋コンクリート擁壁	
[Symbol]	木造コンクリート擁壁	
[Symbol]	ブロック積擁壁	
[Symbol]	重力式コンクリート擁壁	
[Symbol]	切 土	
[Symbol]	盛 土	
[Symbol]	切盛境界線	
[Symbol]	申請境界線	
[Symbol]	工区境界線	
[Symbol]	開発に関する区域線	

審査済
 宅地調査 第 2-5号
 本市建設局
 大塚明彦 指図

(仮称) 京都西部地区造成工事		設計図 5-2
種 別	縮 尺	1:1000
切盛計画平面図		1:1000
住宅・都市整備公団関西支社住宅事業第2部		元年 月

住都公団による造成図

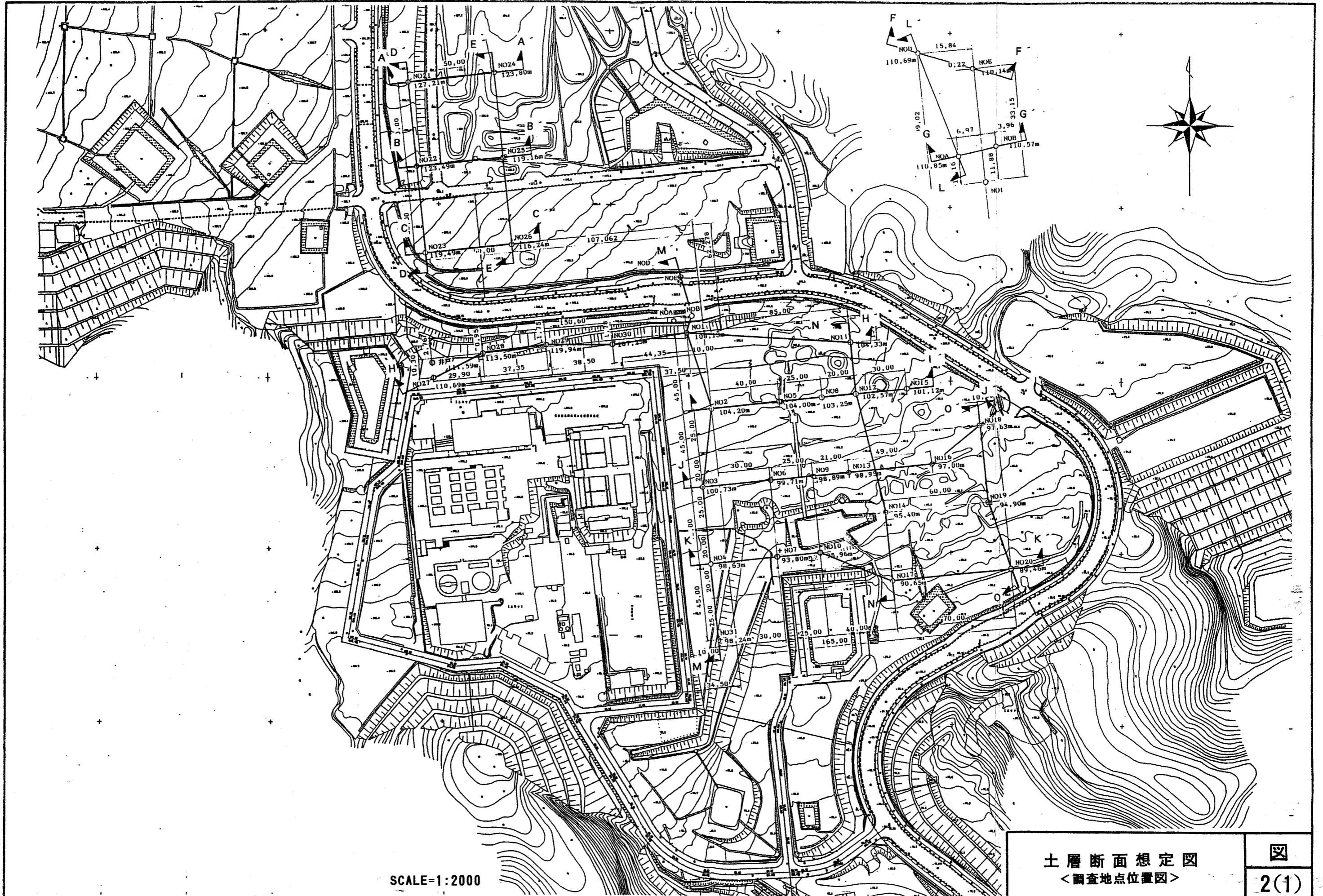


記号	名称	備考
[Symbol]	法面	
[Symbol]	法杆工	
[Symbol]	鉄筋コンクリート擁壁	
[Symbol]	木式コンクリート擁壁	
[Symbol]	ブロック積擁壁	
[Symbol]	重力式コンクリート擁壁	
[Symbol]	切土	
[Symbol]	盛土	
[Symbol]	切盛境界線	
[Symbol]	申請境界線	
[Symbol]	工区境界線	
[Symbol]	別表に別する区境界線	

審査済
 申請書 第 2-5号
 工事指針
 別表指針

(仮称) 京都西部地区造成工事 設計図 5-3 76
 切盛計画平面図 1:1000
 住宅・都市整備公団関西支社住宅事業第2部 元年 月

住都公団による造成図



ボーリング柱状図

調査名 京都大学（桂）総合研究棟I等新営に伴う地盤調査等

事業・工事名

ボーリングNo	
---------	--

ボーリング名	23	調査位置	京都府京都市西京区御茶屋山1-7他	北緯	34°58'33.0"
発注機関	文部省京都大学施設部	調査期間	2000年8月1日~2000年8月2日	東経	135°41'1.0"
調査業者名	株式会社東京ソイルリサーチ 電話(06-6384-5321)	現代理人	大野貴史	ボーリング責任者	森本繁
孔口標高	+119.49m	試験機	吉田 YBM-05	ハンマ用具	自動モンケン
総掘進長	15.07m	使用機種	エンジン	ポンプ	カノー-V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験			原位置試験	室内試験 ()	掘進月日		
									10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N値					
+118.88	0.60	0.60	シルト混じり砂	黄灰褐	緩い			面円~垂角礫(φ2~60mm)はφ5~60mm主体存在。コア底7cm程度玉石存在。表部5cmアルト存在。粗粒は角礫である。粗粒は角礫を帯びている。礫は丸味を帯びている。	0.15	1	2	1	30	4		
									0.45	1	1	1	30	3		
									1.15	1	1	1	30	3		
									1.45	2	1	3	30	6		
									2.15	2	1	3	30	4		
									2.45	1	2	1	30	4		
									3.15	1	2	1	30	3		
									3.45	1	1	1	30	3		
									4.15	1	1	1	30	3		
									4.45	1	1	1	30	3		
									5.15	1	1	1	30	3		
									5.45	1	1	1	30	3		
									6.15	59	4	60	129	14		
									6.29	1	1	1	30	3		
									7.15	1	1	1	30	3		
									7.45	1	1	1	30	3		
									8.15	1	1	2	30	4		
									8.45	1	1	2	30	4		
									9.15	2	6	10	30	18		
									9.45	60	9	60	200	200		
									10.05	60	6	60	300	300		
									10.14	60	6	60	300	300		
									11.06	60	6	60	300	300		
									12.00	18	2	60	150	150		
									12.12	42	2	60	200	200		
									13.00	60	9	60	360	360		
									13.09	60	5	60	257	257		
									14.00	60	5	60	257	257		
									14.05	60	7	60	257	257		
									15.00	60	7	60	257	257		
									15.07	60	7	60	257	257		

ボーリング柱状図

調査名 京都大学(桂)総合研究棟I等新営に伴う地盤調査等
事業・工事名

ボーリングNo. _____

ボーリング名	25	調査位置	京都府京都市西京区御茶屋山1-7他	北緯	34°58'33.0"
発注機関	文部省京都大学施設部	調査期間	2000年7月24日~2000年7月26日	東経	135°41'1.0"
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話(06-6384-5321)	現場代理人	大野 貴史	ボーリング者	森本 繁
孔口標高	+119.10m	試験機	吉田 YBM-05	ハンマ下用具	自動モンケン
総掘進長	21.04m	エンジン	ヤンマー NFA-80	ポンプ	カノー V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験			位置試験 試験名 および結果	試験採取 採取方法 試験料番号	掘進月日			
								10cm毎の 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
+118.90	0.20	砂礫	砂礫	灰褐色			円角礫(φ2~6.0mm)はφ5~7~2.0mm主体。コア角張っている。礫は丸味を帯びている(盛土)。風化礫主体。所々シルトを含む。粘性強い。均質である。粒径は均一である。φ3~10mmの角礫点在。粘性強い。所々固結している。	0.15	1	2	3	30	6			
+118.50	0.40	シルト	シルト	茶褐色			中ぐらいと密な	0.45	1	2	3	30	11			
+118.10	0.35	粘土	粘土	黄褐色				1.15	3	4	4	30	11			
+117.70	0.90	シルト	シルト	黄褐色				1.45	3	4	4	30	11			
+117.30	1.85	シルト	シルト	黄褐色				2.15	6	7	9	30	22			
								2.45	8	6	9	30	23			
								3.15	8	6	9	30	23			
								3.45	8	6	9	30	23			
								4.15	8	9	12	30	29			
								4.45	8	9	12	30	29			
								5.15	8	19	12	30	39			
								5.45	8	19	12	30	39			
								6.15	9	10	15	30	34			
								6.45	9	10	15	30	34			
								7.15	10	10	11	30	31			
								7.45	10	10	11	30	31			
								8.15	9	9	9	30	27			
								8.45	8	8	7	30	23			
								9.15	8	8	7	30	23			
								9.45	9	9	9	30	27			
								10.15	9	9	16	30	34			
								10.45	9	9	16	30	34			
								11.15	13	13	14	30	40			
								11.45	8	12	12	30	32			
								12.15	8	10	10	30	28			
								12.45	8	10	10	30	28			
								13.15	8	10	10	30	28			
								13.45	8	8	10	30	26			
								14.15	8	8	10	30	26			
								14.45	7	7	8	30	22			
								15.15	7	7	8	30	22			
								15.45	26	60	60	113				
								16.15	34	6	16	113				
								16.31	21	60	150					
								17.15	39	2	12	150				
								17.27	60	60	180					
								18.00	60	10	180					
								18.10	15	60	138					
								19.05	45	3	13	138				
								19.18	8	60	11	164				
								20.00	52	1	60	450				
								20.11	60	4	60	450				
								21.00	60	4	60	450				
								21.04	60	4	60	450				

